

第82回全神戸選抜軟式野球大会 特別規則

1. 試合について

- (1) 試合は7回ゲームとする。ただし、準決勝・決勝は9回ゲームとする。 降雨・日没などでも7回ゲームは5回を過ぎれば、9回ゲームは7回を過ぎれば試合は成立する。
- (2) (1)の試合成立後、降雨・日没などにより、試合中止を宣告された場合は、等しく完了した回までの合計点で試合を決める。
- (3) 得点差によるコールドゲームを採用する。
7回ゲームの場合は3回10点、5回7点、9回ゲームの場合は5回10点、7回7点差でコールドゲームを適用する。
- (4) 試合は時間の許す限り行うが、降雨・日没などで当日決着がつかなかった場合、特別継続試合とする。
- (5) 球場の使用時間等の関係で当日試合の成立が難しい状況であっても両チームに通告のうえ、試合を開始することがある。
成立しなかった場合は特別継続試合とする。
- (6) 指名打者ルールを使用することができる、規則どおりに打順表に必ず記載すること。

2. 特別継続試合

- (1) 如何なる場合でも、試合が中断になった場合は次回開催日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。
- (2) 試合は中断された場面より再開する。
- (3) 両チームの出場者は試合が中断されたときと同一でなければならない。
ただし、規則によって認められる交代は許される。
- (4) 中断された試合に出場して、他の選手と交代して、その試合より退いた選手は再開される試合に出場できない。
- (5) 今大会の特例として中断された試合に出場していない控え選手の変更を認める。
変更可能な人数は25人から中断試合から退いた人数プラス9人を引いた人数とする。
その場合は新たに打順表を提出し本部の承認を得なければならない。
(例)中断の試合で3人が退いていた場合: $25人 - (3人 + 9人) = 13人$ (変更可能な人数)

3. 試合時間

- (1) 7回ゲームは100分、9回ゲームは120分、決勝戦は140分を超えて新しいイニングに入らない。 その運用については、支部大会通りとする。
- (2) 同点の場合は、決勝戦を除き特別延長戦(無死1・2塁継続打順・走者はバッテリーを除く)を1回行い決着がつかない場合は抽選とする。
決勝戦は決着がつくまで特別延長戦を行うこととするが、球場状況により抽選とする場合もある。

4. 審判員

- (1) 3人制を原則とするが、4人制も採用する。

5. タイムの回数

- (1) 7回ゲームは3回、9回ゲームは4回、特別延長戦のときは、1イニングに1回とする。